

議会のまど

八幡平市で、やってみたいをやろう！に



みうら いよ
三浦 伊代さん
(大更 36歳)

2年ほど前から「わくわく八幡平」という市民団体のスタッフとして活動しています。はじめは体を動かしたいと思ったものの、何をしたら良いか分からず、いろいろ検索したところ「わくはち」を見つけ参加しました。文化的活動もできると知り、見たいと思っていた映画の自主上映会を開催することがきっかけで、さまざまな人とのご縁が生まれ、そこからさらに新しく料理教室やアロマ教室などの開催へと広がっていきました。八幡平市でも、やろうと思えばいろいろなことができるんだ！というマインドを広めていきたいです。

ペイペイ決済事業が店に よっては負担になるため、辞めたりしています。
(山子沢・40歳女性)

デマンド運行を西根地区でも早めに検討してほしい。交通手段がないため、運行が始まったら活用したい。
(中関・76歳女性)

議会を傍聴する人が少なすぎるので、対策を考える必要があると思います。
(下町1区・74歳男性)

雪が消えた後、タクシーに乗っていると、音がする。道路の補修をしてほしい。
(湯沢・83歳女性)



クイズで寄せられた意見などを紹介します。

交流村の閉館で健康教室は廃止です。大更、田頭の地区民が通える施設を用意して。
(山後・71歳女性)

ギカイのひろばをモノクロ作成すると、いくらコスト削減になるか。カラーは年1回で。(野駄・58歳男性)

八幡平市もリサイクルにもっと取り組むべきだと思います。仕分けは大変ですが慣れてくると思います。
(向村・71歳女性)

空き家の母屋や作業小屋など雪の重みで崩壊寸前の所が多い。市の対応は。
(寄木・70歳男性)

保育所紹介



令和7年度大更こども園
保護者会会長
たけだ としゆき
武田 敏之さん

大更こども園には0歳児はっぱ組から5歳児ほし組まで90名ほどが通園しています。年長さんが小さいお友達のお世話をし、小さなお友達は大きなお友達を慕い、子どもたちがのびのびと過ごせる温かな雰囲気にも包まれています。季節ごとの行事を職員、保護者、祖父母、地域の皆さんと協力しながら実施し、子どもたちの豊かな感性や社会性を育てています。

◆ 編集後記 ◆

選挙で選ばれた議員は住民代表として、議会で条例制定や予算審議などの重要事項の決定を担います。「ギカイのひろば」では、その活動状況を分かりやすく伝え、市民に親しまれる広報誌を目指してまいりました。広聴広報委員会の任期最後の議会だよりの発行に当たり、ご愛読いただいた皆さま方に感謝申し上げます。

ありがとうございました。
委員長 熊澤 博

※はちまんたい議会だよりの「ギカイのひろば」No.83(令和8年5月14日発行)の印刷経費は1部78.6円(税抜)、発行部数は9,750部です。